



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

コード番号 4696 URL <https://www.watabe-wedding.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 鈴木 眞治 TEL 075-778-4111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	13,976	—	△9,065	—	△9,099	—	△10,685	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △10,854百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△1,078.43	—
2019年12月期第3四半期	—	—

(注) 2019年6月27日に開催された第55期定時株主総会において第1号議案「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、2019年12月期より決算日を従来の3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2019年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率及び2019年12月期第3四半期の連結経営成績 (累計) については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	26,540	205	0.8
2019年12月期	25,087	11,138	44.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 203百万円 2019年12月期 11,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2. 2020年12月期の配当予想につきましては、本日公表いたしました「特別利益、特別損失の計上並びに連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	—	△12,000	—	△12,000	—	△13,000	—	△1,311.97

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 2020年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「特別利益、特別損失の計上並びに連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	9,909,400株	2019年12月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	626株	2019年12月期	626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	9,908,774株	2019年12月期3Q	－株

2019年12月期より決算日を従来の3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2019年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2020年11月13日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2019年6月27日に開催された第55期定時株主総会において第1号議案「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、2019年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、各セグメントにおける比較につきましては、2019年1月から9月までの9ヶ月間を「前年同一期間」として算出した参考数値と比較しております。

当第3四半期連結累計期間における運営状況と経営成績については、「リゾート挙式」においては、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限の影響を受け、当社が取扱う海外ウェディング営業地域の全挙式施設の催行が不能となる状況が続いております。沖縄の挙式施設については稼働が再開し徐々に回復の兆しが見えるものの、感染収束が見通せない状況から多くの国内外の挙式が来年へと延期になりました。販売面においては、ウィズコロナ時代の接客サービスの新基準「安心への5つの約束」を制定し営業するなど感染拡大防止に努めると共に、来店不要型のWEBサービス「リゾ婚オンラインカウンター」の接客体制を強化し、実店舗とオンラインを組み合わせたポストコロナを見据えた販売戦略を展開いたしました。フォト事業では、コロナ禍において挙式延期やキャンセルをされたカップルのフォトウェディングニーズの高まりを受け、需要を捉えた商品展開や集客施策を実施したことなどにより、全国のフォトスタジオの利用及び受注が好調に推移いたしました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ホテル雅叙園東京、メルパルク共に、婚礼においては一組当たりの列席人数が減少しているものの、実行件数は徐々に回復基調へと向かいました。また、館内施設利用を促進すべく、国内の個人需要をターゲットとした営業施策を積極的に展開し、GO TOキャンペーン向けの商品展開を図るなど、業績回復に向けた強化策を推進いたしました。

以上の施策を展開すると共に、役員報酬の減額をはじめとした人件費や広告宣伝費の抑制、賃料減額交渉など、様々な費用削減対策を実施してまいりました。また、海外渡航制限の解除や航空路線の正常化の見通しが不透明であることから経営環境の悪化が一定期間続くことを想定し、運営効率化や固定費削減を図るべく一部のリゾート挙式販売店並びに海外エリアの閉鎖を決定し、これらの施策に伴う人員構成の最適化として希望退職の募集を行うこととなりました。さらに、自社保有資産の売却など、経営安定化に資する財務政策を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上高13,976百万円（前年同一期間比61.3%減）、営業損失9,065百万円（前年同一期間営業損失603百万円）、経常損失9,099百万円（前年同一期間経常損失354百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失10,685百万円（前年同一期間親会社株主に帰属する四半期純損失450百万円）となりました。

（単位：百万円）

	前年同一期間（参考） （自2019年1月1日 至2019年9月30日）	2020年12月期第3四半期 （自2020年1月1日 至2020年9月30日）	増減率 （%）
売上高	36,087	13,976	△61.3
営業損失（△）	△603	△9,065	—
経常損失（△）	△354	△9,099	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△450	△10,685	—

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

新型コロナウイルス感染症拡大による、海外挙式催行中止の影響などを受け、挙式組数が大幅に減少した結果、売上高6,381百万円（前年同一期間比59.4%減）となりました。利益面では、不要不急の投資を抑えつつ、広告宣伝費や人件費を削減したものの、売上高の大幅減少により、セグメント損失は3,561百万円（前年同一期間セグメント損失749百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、婚礼・宿泊・宴会利用が大幅に減少した結果、売上高7,595百万円（前年同一期間比62.7%減）となりました。利益面では、人件費や広告宣伝費削減など執行費用コントロー

ルに努めるものの、売上高の大幅減少により、セグメント損失5,548百万円（前年同一期間セグメント利益109百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,938百万円増加し、11,766百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,486百万円減少し、14,773百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他の減少によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,452百万円増加し、26,540百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12,785百万円増加し、23,235百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した一方で、買掛金及び流動負債のその他が減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ399百万円減少し、3,099百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債が減少した一方で、固定負債のその他が増加したことによるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ12,386百万円増加し、26,335百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ10,933百万円減少し、205百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「特別利益、特別損失の計上並びに連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,618	7,871
売掛金	1,671	592
商品	207	256
原材料及び貯蔵品	492	424
その他	1,855	2,637
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	8,828	11,766
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	137	115
建物及び構築物(純額)	6,015	5,431
器具備品(純額)	1,134	777
土地	1,675	2,535
その他(純額)	903	746
有形固定資産合計	9,866	9,606
無形固定資産		
のれん	628	488
その他	1,360	1,448
無形固定資産合計	1,989	1,937
投資その他の資産		
差入保証金	2,744	2,774
その他	1,663	460
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	4,403	3,229
固定資産合計	16,259	14,773
資産合計	25,087	26,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,002	369
短期借入金	1,600	18,200
前受金	2,963	2,577
賞与引当金	417	248
その他	3,466	1,839
流動負債合計	10,450	23,235
固定負債		
長期借入金	700	450
退職給付に係る負債	1,328	169
資産除去債務	872	862
その他	597	1,617
固定負債合計	3,498	3,099
負債合計	13,948	26,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,047	4,047
利益剰余金	3,346	△7,418
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,569	804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	18
繰延ヘッジ損益	24	△30
土地再評価差額金	△681	△681
為替換算調整勘定	184	92
退職給付に係る調整累計額	9	—
その他の包括利益累計額合計	△436	△601
非支配株主持分	5	1
純資産合計	11,138	205
負債純資産合計	25,087	26,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,976
売上原価	4,889
売上総利益	9,086
販売費及び一般管理費	18,151
営業損失(△)	△9,065
営業外収益	
その他	90
営業外収益合計	90
営業外費用	
支払利息	44
為替差損	50
その他	29
営業外費用合計	124
経常損失(△)	△9,099
特別利益	
助成金収入	1,679
退職給付制度移行利益	77
その他	2
特別利益合計	1,759
特別損失	
減損損失	548
臨時休業等による損失	1,476
その他	405
特別損失合計	2,430
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,771
法人税等	918
四半期純損失(△)	△10,689
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,685

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 2020年1月1日
 至 2020年9月30日)

四半期純損失(△)	△10,689
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△7
繰延ヘッジ損益	△55
為替換算調整勘定	△91
退職給付に係る調整額	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0
その他の包括利益合計	△164
四半期包括利益	△10,854
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,850
非支配株主に係る四半期包括利益	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(退職給付制度の変更)

当社及び一部の子会社は、2020年1月1日付で確定給付企業年金制度を確定拠出企業年金制度へ移行いたしました。移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成28年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成19年2月7日)を適用しております。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、「退職給付制度移行利益」として特別利益に77百万円を計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社は、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等について不確実性の高い事象であると考え、本件が当社グループの業績に与える影響については2021年秋口まで続くものとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	6,381	7,595	13,976	—	13,976
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,945	87	3,032	△3,032	—
計	9,326	7,682	17,009	△3,032	13,976
セグメント損失(△)	△3,561	△5,548	△9,110	44	△9,065

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額44百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(当座貸越契約の締結)

当社は、2020年11月13日に以下の当座貸越契約を締結いたしました。新型コロナウイルス感染症による事業への影響を鑑み、当該影響への備えに万全を期するために、バックアップラインとしての資金確保を目的として、契約を締結するものです。

- (1) 契約先 株式会社三菱UFJ銀行、株式会社京都銀行
- (2) 借入極度額 3,000百万円
- (3) 契約期間 2020年11月13日～2021年3月31日
- (4) 担保等の有無 無担保・無保証

(固定資産の売却)

当社は、2020年11月13日開催の取締役会において、以下の固定資産を売却することを決議いたしました。経営資源の有効活用及び財務体質の向上を図るため、当社の保有する土地建物の一部を売却するものであります。

(1) 売却資産の内容

所在地	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	現況
京都府京都市	515.16㎡	1,192.20㎡	賃貸用不動産
	292.91㎡	—	
	334.74㎡	—	遊休資産
滋賀県草津市	1,179.26㎡	—	賃貸用不動産

(2) 売却先の概要

売却先は国内事業法人ですが、売却先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、当社と売却先の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、売却先又はその関係者は当社の関連当事者には該当いたしません。

(3) 売却の日程 (予定)

取締役会決議日	2020年11月13日
売買契約締結日	2020年11月16日
物件引渡日	2020年12月25日

(4) 今後の見通し

上記固定資産の売却により、2020年12月期決算において約720百万円を固定資産売却益として特別利益に計上する見込みであります。

3. その他

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上の大幅な減少により、当第3四半期連結累計期間において、営業損失9,065百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失10,685百万円を計上したことから、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の中、当社グループでは人件費抑制や賃料減額交渉等の費用削減対策を進めております。今般のコロナ禍での海外渡航制限の解禁時期を2021年4月、その影響が2021年秋口まで継続する前提で事業計画を見直し、その施策として一部のリゾート挙式販売店及び海外エリアの閉鎖、希望退職の募集を進めております。さらに、自社保有資産の売却により手元資金の確保を進めることに加え、本年11月には新たに借入極度額3,000百万円の当座貸越契約を締結いたしました。今後も取引金融機関から引き続き支援を得られる見通しであり、資金面で問題がないことから、継続企業的前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業的前提に関する注記を記載しておりません。